

世田谷区教育委員会

教育長 渡部 理枝 様

世田谷区立中学校PTA連合協議会
会長 栄 裕美

令和5年度 予算編成に向けて
『教育条件整備に関する要望書』

清秋の候、世田谷区教育委員会教育長渡部理枝様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より区立中学校教育の充実や発展のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。世田谷区立中学校PTA連合協議会の活動につきましても、ご理解、ご支援、ならびにご協力を賜り重ねて感謝申し上げます。

さて、世田谷区教育ビジョンにおいて「一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばし、社会をたくましく生き抜く力を学校・家庭・地域が連携してはぐくむこと」とあります。この方針に基づいて多くの施策が実行され、よりよい学校教育がなされることは我々の強い願いでもあります。

しかし、今日、学校や教職員が抱える課題はますます複雑化、多様化しています。これまでの知識や技能だけでは予測困難な未来を生きる子どもたちに、進んで自ら考え、協力し、課題を解決していく力を身につかせ、未来への希望を持てるような教育をさらに推し進めていってほしいと考えます。

そのためには、学校を取り巻く安心安全な環境づくりや教育の仕組みの改善が不可欠です。子どもたちを育てる学校・家庭・地域が連携の充実をし、日々の教育活動ができるような仕組みを作っていただきたいと思います。

世田谷区立中学校PTA連合協議会では、「教育条件整備に関する要望事項」を整理し、下記のような項目別にまとめました。

- 1 学校教育環境の充実・整備に関する要望
- 2 学校施設・設備の整備と安全に関する要望
- 3 部活動に関する要望
- 4 地域の教育環境、PTA活動環境の整備に関する要望
- 5 いじめや不登校の問題に関する要望
- 6 その他

今後とも教育委員会と世田谷区立中学校PTA連合協議会との連携を大切に、子どもたちの未来のために、世田谷の教育が発展していくことを希望します。

令和5年度 教育条件整備要望書

1 学校教育環境の充実・整備に関する要望

近年、生徒を取り巻く環境の変化により、先生方には、人間関係形成や生徒の心の育成、保護者への対応など、学力の向上以外にも生徒一人ひとりへの多様できめ細やかな教育が求められています。しかし、先生方が生徒個々に対応する時間は少なく、先生方の指導力を十分に発揮するには難しい現状があります。令和3年度からは新型コロナウイルス感染症拡大がみられる中でも、従来の学校活動を少しでもできるようにと先生方にはご尽力いただき、例年以上に負担も増えています。生徒一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばす教育理念を形あるものにできるよう、下記の事項を要望します。

社会の情報化が急速に発展する中、生徒が情報社会において、正しい知識を身につけ、活用していく事は当たり前となりつつあります。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンラインでの授業や保護者会、各種会議が行われるなど環境は急速に変化をしています。生徒一人に一台のタブレット配布をしていただき、ありがとうございました。しかし、現状ではそのタブレットの機能を十分に活かすことができずにいます。生徒の持ち物の多いことによる体への負担等を考慮し、デジタル教材の活用を訴える声も引き続き多数上がっています。先進的にICTを使用した学習支援を行っている世田谷区だからこそハード面だけではなくソフト面においてもICT教育の充実と環境の整備を引き続き要望します。

(1) ICTの活用の充実（新規・継続）

- ①学校による環境に差が出ないように、各校の取組や活用方法の状況共有、統一化を要望
- ②タブレットを使用したアクティブラーニングの授業の増加を要望
- ③当該分野に詳しいICT支援員の増員、配置時間の増加、常駐を要望
- ④教科書、資料、プリント、ノートなどのデジタル化を要望
- ⑤プログラミング授業の充実を要望
- ⑥今後またコロナと同じような状況が起こった場合の対処の仕方の検討を要望
- ⑦家庭へのICT環境のための補助の強化を要望

(2) 教職員の増員（継続・新規）

- ①全クラス、担任・副担任の2名体制、習熟度別クラスや支援を必要とする生徒対応など、生徒人数に対する教員の増員を切に要望
- ②スクールサポートスタッフの増員を要望
- ③学校包括支援員の複数配置を要望
- ④教育委員会で教員を探すなどの対策を要望
- ⑤副校長事務補佐の新設を要望
- ⑥スクールソーシャルワーカーの設置を要望
- ⑦スクールロイヤーの設置を要望

(3) 少人数教育・授業（継続・新規）

- ①35人以下学級の全校、全学年での実現を要望
- ②実践的な英語教育の充実を図るため、外国人教師、ALTの常勤配置、増員や、教員条件の柔軟化に向けた働きかけを要望
- ③主要5教科の習熟度別少人数制の授業を要望
- ④学習の遅れ、学習障害への個別支援を行うための人員配置の増員を要望

(4) 特別支援教育の充実（継続・新規）

- ①生徒たちが無理なく通学できるよう、2校に1校程度、知的障害学級・肢体不自由学級の増設を要望
- ②特別支援、不登校対応スクール新規開設を要望
- ③特別支援学級のさらなる充実のため、教員の増員を強く要望
- ④自閉症などを対象としたクラスを各校に設置を要望
- ⑤すまいるルームの利用を必要であれば在学中の3年間の支援を要望
- ⑥特別支援教育の指導充実を要望

(5) その他

- ①キャリア教育のための高校生・大学生・社会人の様々な職種の方の講演・交流の場を増やすための区としての人材確保サポートを要望
- ②教科「日本語」の授業のように、将来に向けて身につけておきたい「金融の知識」についても積極的に授業に取り入れることを要望

2 学校施設・設備の整備と安全に関する要望

時代の移り変わり、環境の変化など、これまでとは違う環境の整備が求められていることは学校教育においても例外ではないと感じます。各学校の地域性、立地などの環境も大きく異なることはありますが、ハード面での早急なケアが求められている現状も多くあります。また、ICT教育を発展させるため、ネットワーク環境など時代に合ったインフラ整備を求める声が多くなりました。世田谷区の施設として、地域と共にある学校像の拠点として下記の事項を引き続き要望します。

(1) ネットワーク環境整備の充実（新規・継続）

- ①体育館、校内全て全教室へのWi-Fi設備の設置を端末数に制限なく使用できるよう、高速大容量通信ネットワークの整備を早急に要望
- ②タブレット、学校台数の充足。オンライン配信用のタブレットの充足を要望
- ③大きな見やすい電子黒板等の導入を要望
- ④Zoomアカウントの全クラス分設定を要望
- ⑤ICT設備の早期導入と音響や映像など必須機材の購入支援を要望

(2) 新型コロナ関係（継続）

- ①自動体温測定器、自動消毒薬ディスペンサーなど感染予防用消耗品の購入予算を要望

(3) 校舎内外・体育館（格技場含む）の点検と改修（継続）

- ①生徒が安全な環境で学べ、かつ地域の避難場所に指定された施設として近年多発する自然災害に備えるためにも、各学校の現状を把握し、校舎内外の老朽箇所(point)の点検、補修、改修などの計画を明確化することを要望
- ②校舎内外のバリアフリー化を要望
- ③正門への電子錠、及びインターフォンの区立中での完備を要望

(4) 熱中症対策のための設備充実（継続）

- ①引き続き、生徒の安全な活動、夏場の活動拡大、またコロナ禍での換気の必要性を踏まえ、体育館空調設備のさらなる増設と機能強化を要望

- (5) プールの環境整備（新規・継続）
- ①見学者の熱中症予防、要救護者の避難場所として、プールサイドに屋根付きの日除けの設置を要望
 - ②近隣建物からの視線を遮るため、目隠し機能を考慮したフェンスの設置を要望
 - ③プール設備（更衣室含む）の改修・増改築・修繕、業者による定期点検・清掃を早急に要望
- (6) トイレ設備（洋式トイレ、手洗い場）の改修、増設、新設（継続）
- ①すべてのトイレ（体育館含む）を洋式トイレへ改修、増設、新設を要望
 - ②トイレ設備の設置を要望
- (7) 校庭の改善（継続）
- ①校庭の陥没箇所の点検、タータンの改修、スプリンクラーの改修、テニスコートの整備、水はけの改善、日よけの設置、フェンスの設置について引き続き要望
- (8) 給食（継続）
- ①食物アレルギー疾患のある生徒は年々増加する傾向にあり、よりきめ細かな対応ができる自校調理方式の採用を引き続き要望
- (9) 大きな鍵付きロッカーの設置（継続）
- ①通学時の荷物の軽量化のため、学校内に荷物を置いておけるよう、プライバシーが保護され安心して管理できる大きな鍵付きロッカーの設置を要望
- (10) 部活動の更衣室・ロッカーの設置（新規）
- ①部活動の更衣室・ロッカーの設置及び改修を要望
- (11) 防災関係の要望（新規・継続）
- ①災害時のヘルメットや防災グッズの全生徒分の完備を要望
 - ②災害時物資等の充実を要望
 - ③災害時の避難場所として指定されている施設として、校庭の放送設備、照明設備の整備を要望
- (12) 防犯・警備（継続）
- ①不審者情報が増加している中、学校関係者以外も自由に出入りでき、訪問チェックもできていない現状を鑑み、警備員の増員・全日常駐（土曜授業日含む）を引き続き強く要望
 - ②防犯カメラの導入・増設を要望
- (13) その他（新規）
- ①競技場など区の施設を借りられるように要望

3 部活動に関する要望

学校教育のみならず、生涯学習の推進などを踏まえても、中学校での部活動は大変重要な教育活動の一つです。部活動の充実には、専門的指導と顧問教員の異動などで変わることのない環境の継続が必要です。関わる先生方には長時間の拘束、土日曜日・祝祭日の出勤など、かなりの荷重となっている現状も問題の一つとなっております。もう一方で、ガイドラインもあるように、生徒の健全な成長に悪影響を及ぼすような指導なく、部活動に励むことができることも重要と考えます。教える側と教わる側の双方が、負担のない環境で幅広い充実した部活動に取り組めるような支援をお願いいたします。

(1) 部活動支援員制度の充実と待遇改善（継続）

- ①部活動運営において部活動支援員は顧問教員の負担を軽減する大きな担い手となっていますが、必要な人員を手配するには学校配当予算が未だ不十分。また、謝礼単価等に関してもさらなる増額を要望
- ②部活動外部指導員確保のため、区による斡旋等サポートシステムの構築を要望
- ③部活動外部指導員、技術指導ができるコーチを呼ぶための資金援助を要望

(2) 部活動備品や用具の充実・メンテナンスなどに伴う予算の増額（継続）

- ①充実した部活動を行うために必要な楽器や用具、備品などの購入費、メンテナンス費に充当する予算として各校に20万円配当継続、増額を要望

(3) 顧問教員の待遇改善（継続）

- ①平成18年度より、世田谷区立学校管理運営規則に規定されているとおり、中学校の教育活動としての位置づけをより明確にするため、充実した支援を要請。特に顧問教員は放課後や土日の部活動試合の引率などで大きな負担を強いられるので、都だけでなく世田谷区からの顧問教員への手当の拡充、複数顧問制を要望

(4) その他（新規）

- ①体育大学などとの提携を要望
- ②地域移行の方向性の明示を要望
- ③外部指導員の人材確保事業について保護者・学校への周知不足を感じる。区を通じてどのような事業が利用できるのか、マッチング方法などを教師保護者ともに共有できるよう、周知を要望
- ④環境に優しく、交通費負担も減る自転車移動の承認を要望

4 地域の教育環境、PTA活動環境の整備に関する要望（新規・継続）

- ①図書館の設立・勉強スペースの確保を要望
- ②学び舎小学校中学校との連携強化、近隣高校・大学との交流の推進、近隣施設の相互利用、優先的活用を要望
- ③世田谷区がPTAや町会など地域活動団体に機器やサービスの導入を斡旋できる窓口となり、支払いは各団体の口座から引き落とす仕組みを要望
- ④設備の充実した施設だけでなく、ただの広場の確保や緑を増やす活動を要望

5 いじめや不登校の問題に関する要望

教育現場におけるいじめの未然防止、早期発見や発生後の対応などの重要性がこれまで以上に高まっております。いじめ防止に関する総合的な取り組みの実現のためにも、下記の事項を要望します。

(1) スクールカウンセラーの増配置（新規・継続）

- ①いじめの早期発見・早期対応、不登校とならないための相談や、不登校生徒の対応にもあたるなどカウンセラーの業務が近年多事におよんでいる。また、生徒、保護者が必要な時にいつでも相談できる体制を望む声は例年各校より上がっている。カウンセラーの常勤、増員、勤務日数の増加、勤務時間の延長を要望
- ②自校専任スクールカウンセラーの常勤配置を要望

(2) いじめ・不登校（新規・継続）

- ①生徒達がいじめについて考えることの出来る機会を増やし、「いじめ防止プログラム」の内容のさらなる充実を要望
- ②子ども、保護者、家庭、学校と関わりのバランスをとりながら、協調性や自立心を養い、不登校生徒の学校生活への復帰、自分らしい進路の実現を支援する「ほっとスクール」の増設や相談窓口の拡充を要望
- ③不登校生徒へのオンライン授業による対応を要望
- ④不登校生徒へのオンライン指導の明確な基準設定を要望
- ⑤不登校生徒の健康診断への配慮を要望
- ⑥不登校生徒へのサポートの為に予算を要望
- ⑦不登校生徒への勉強面のサポートを要望
- ⑧不登校生徒のため自校に適応指導教室の設置を要望
- ⑨ネットリテラシーの教育（保護者を含む）を要望
- ⑩学校や保護者だけでなく、ネットも含めて「どのような場所でも誰かとつながっていただける居場所」への支援を要望

6 その他

(1) 携帯電話・タブレット端末に関するルールの設置（新規・継続）

- ①子どもたちの各タブレットの視聴時間などの制限や利用の閲覧管理を各家庭で設定できるようにすることを要望
- ②デジタル活用で生じる課題の対策と方針の明示を要望

(2) その他（新規・継続）

- ①新型コロナの影響による修学旅行中止の際に伴う企画料、キャンセル料の区による負担を要望
- ②物価高に伴う給食費の補助金の継続を要望
- ③学校での模試受験機会の設定を要望
- ④すぐーるでESAT-Jの申し込みができるよう要望
- ⑤ボランティア団体（PTA、英検試験監督など）の会計処理に行政の後援が入る仕組みを要望
- ⑥区内29校のインフラ項目のリスト化を要望
- ⑦臨時休校時の給食の食材を活用する仕組み作りを要望